

✿ 教職課程センター多摩相談室のご案内 ✿

- 活動内容：教職進路相談、採用試験に向けた講座の開催、教職関係図書資料の紹介・閲覧など・・・
- 参考書・過去問・教科書その他、教職に関する図書資料を多数揃えております。

✿ 新たに教職課程を履修される学生の皆さんへ ✿

教職課程センターは、将来の進路として教職をめざす学生の皆さんを支援・応援する場です。学校現場で豊富な教職経験をもつ相談指導員が、採用試験に向けた個別・グループ指導や進路相談などを、年間通じて実施しています。ぜひ一度、来室してみてください。

多摩相談室では週3日相談指導員が在室して、皆さんの相談・指導にあたっています。

✿ 2025 年 4 月～
(月・水) 柳原先生
(火) 源田先生

✿ 教職履修・単位
に関わる質問は、
所属学部窓口へお
願いします。

😊 教員採用試験対策講座 😊

2025 年度も「教員採用試験対策講座」を開催する予定です。

✽ 5～7 月 第 1 期教員採用試験対策講座

✽ 10～12 月 第 2 期教員採用試験対策講座

✽ 3 月 第 3 期教員採用試験対策講座

それぞれ、小論文、面接、教職教養の各講座を開催する予定です。

☆ センターの主なイベント ☆

(春学期)

7 月・・・教員採用二次試験対策講座

(秋学期)

12 月・・・「合格者の話を聞く会」 など

(※これらはあくまで予定ですので、日程・内容は変更する場合があります。)



✽ 2025 年度新 3 年生へ

履修カルテの提出について

※下記期間中に必ず履修カルテを提出・受領してください。

■【提出】2025 年 4 月 1 日(火)～4 月 15 日(火)

■【返却】2025 年 5 月 19 日(月)～5 月 27 日(火)

☆教職課程センターHP：https://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/

期 間
厳 守!!

◎ 教職相談の申し込み、質問はこちらへ

★ 窓口へ来室、もしくはメールにて事前申し込み ★

メールは、公的な依頼文にふさわしい文体・体裁を考え、かつ以下の内容を必ず盛り込むようにして下さい。

- ① 氏名
- ② 学部・学科
- ③ 学年
- ④ 学生証番号
- ⑤ 面談希望時間 (第 3 希望まで)
- ⑥ 相談内容
- ⑦ メール・アドレス (PC から受信可能なもの) を必ず記入してください。

*宛先：kyoshokutama1@ml.hosei.ac.jp

月・水曜日：柳原 忠夫

今年度も引き続き、相談員を務めます。私は都内公立中学校に37年間勤め、最後は副校長として退職し、その後2年間は中学校を巡回して副校長の補佐等をしました。また、昨年度からは東京女子体育大学でも教員志望者の指導をしています。専門は国語です。教育現場は、やる気のある若手教員を強く求めています。「教育は人」と言われますが、教育や社会における様々な課題が山積する中、まさに、その「人」が必要です。私もこれまでの経験を活かし、教育という素晴らしい職業を目指す皆さんの力になりたいと思います。よろしくお願いします。

火曜日：源田 洋二郎

初めまして。源田洋二郎と申します。出身は東京都で、社会科の教員として39年、学級担任として27年勤めました。教職を目指す若い皆さんのためになる様々なことをお伝えしたいと思います。学校という一つの世界の中で、教師である私たちには3つの大きな「課題」があると考えます。私は課題を心の中で「戦い」と呼んできたのですが、その3つとは、「子どもに対する課題・保護者に対する課題・管理に対する課題」です。

目の前の子どもをどうよく育てていくかが私たちの毎日の仕事です。学力をつけること、約束を守る態度を育てること、人を尊重する姿勢を身に着けることなどをどう導いていったらよいのか。お会いした時にお話したいと思っています。どうかよろしくお願いします。

平塚 眞樹（社会学部）

法政大学に勤務して35年目、このキャンパスで一緒に学んだ数多くの学生さんたちが、日本各地で小・中・高・特別支援学校の教員や様々な教育関係の仕事に就いて、今では私の仕事や学生の学びを助けてくれています。彼らから教えられるのは、学生時代に狭義の「勉強」だけでなく、地に足の着いた学内外の諸活動に自主的に関わり、多様な他者と出会いじっくり信頼関係を紡ぎながら、人間として耕される経験をつくることですが、教員採用試験にも教育者としての長い人生にも役立つのだということです。そんな豊かな大学生活づくりにも、私たちも少しでも役に立てたらと思います。

永木 耕介（スポーツ健康学部）

某国立教育大学を2校、計28年ほど勤務していました。法政大学の皆さんはポテンシャルが高いので、“本気になれば”必ずや教員になれるし、その後も学校を引っ張っていくリーダー的存在になることでしょう。期待しています。

小田 佳子（スポーツ健康学部）

公立中・高（保健体育・英語）の学校現場で教員として15年（在外教育施設を4年間を含む）勤務し、その後、教員養成に関わる大学教員となって15年以上が経過しました。本学スポーツ健康学部では4年目になります。学生の皆さんにとって教職課程は、履修科目も多く教育実習や介護等体験もあり大変ですが、何よりも教師（専門職）になるという志をもって挑み、学校現場の教壇に立ち、日本の教育と子どもたちの未来を支えてあげてほしいと思います。教育においては、教師としての専門的知識と技能を有することは当然ですが、まず子どもたちへの教育的愛情が不可欠だと考えています。そんな教師の卵である皆さんをしっかりと支え、少しでも多くの皆さんに教師となって教育現場で活躍してもらいたいと願っています。

鈴木 紗和子（火・木・金曜日）

教職課程センターの事務として週3日在室しております。センターに来る学生さん達は、参考書を開いて熱心に勉強をしたり、時に友達同士や先生方と楽しそうにお話をしたり、皆さん有意義な時間を過ごされています。そんな姿を陰ながら見守り、少しでも皆さんのサポートが出来ればと思っています。教職相談の面接予約や書籍の閲覧など、お気軽にセンターをご利用ください。